KIMOTO REPORT

KIMOTOファンの皆様へお届けする最新情報

証券コード：7908

2025.11

トップメッセージ

2026年3月期第2四半期（中間期）の業績について

代表取締役社長
小林　正一

2026年3月期第2四半期（中間期）は、依然として先行きの見えにくい環境が続く中においても、売上はおおむね計画通りに推移し、利益面では想定を上回る結果となりました。

高機能材料事業では、通信機器や産業機器向けの製品が引き続き堅調に推移しました。一方、輸送機器向けは市況の低迷が影響し、当初の計画を下回る結果となりました。下期に向けては、国内外の展示会を通じて環境配慮型製品の提案を一層強化し、グローバルな視点で新たな市場開拓を進めてまいります。

デジタルツイン事業では、新サービス「SPLAT TWIN」や3次元データによる点群図化案件の実績を積み上げ、着実な成長を遂げています。さらなる新規受注の獲得に向けて技術力の強化を進めてまいります。また、働き方改革・製造業DXの知見を講演や伴走支援として展開することにより、社会への貢献の幅を広げております。一方、BIM/CIM関連の3Dモデルデータ作成案件については想定通りの進捗には至っておりませんが、依然として開拓の余地があり、ワールドワイドでの営業強化やウェビナー開催を通じて、案件創出を加速してまいります。

技術部門では、製品化数の拡大と開発生産性の向上を目的に、開発設備の工場移設を完了しました。これにより、開発と生産がより密接に連携できる体制が整いました。併せて、ワークフローの見直しによって開発効率を高めるとともに、茨城工場ではエネルギー使用量を可視化し、省エネの分析・改善を進めています。環境への負荷を減らしながら、開発アウトプットを最大化し、新製品の投入スピードを高めてまいります。

KIMOTOファームでは、「実りの百年米」を苗作りからすべて自社で手がけ、農薬や化学肥料を一切使用せずに育てています。今年8月には一部の圃場で有機JAS「有機農産物」認証を取得しました。国内では、有機JAS認証を受けたお米の生産量は全体の0.12%とごく僅かとなっており、当社の認証取得は非常に貴重な取り組みです。（出典：農林水産省「有機農業をめぐる事情」〈令和7年10月更新〉）おかげさまで今年も無事に収穫を終え、美味しさを示す食味値は全圃場平均で80点超えと高水準となりました。「食の安心」と「地域環境との調和」を大切に、地域の皆様と共に豊かな未来を育んでまいります。

2025年5月に発表した第6次中期経営計画では、「新たな可能性への挑戦」を掲げています。化学とデジタル、そして長年にわたり培ってきたノウハウを融合し、これまでにない価値を生み出すことを目指しています。その中心にあるのは、やはり「人」です。新たな事業領域への挑戦、新製品やサービスの開発、そしてプロセス改革、それらすべてを動かす原動力は、人の力にほかなりません。社員一人ひとりが自ら考え、行動し、成長できる環境づくりを進め、性別や年齢、国籍を問わず、誰もが活躍できる組織を目指してまいります。

KIMOTOはこれからも、環境への配慮、DXの推進、生産性の向上、そして「人」を軸とした成長を柱に、持続的な企業価値の向上と社会への貢献に努めてまいります。

KIMOTOファンの皆様には、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

決算ハイライト

（単位：百万円）

連結業績	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期（予想）
売上高	4,618	9,910	5,776	11,294	**5,583**	**10,700**
営業利益	△109	214	814	1,340	**820**	**1,100**
経常利益	7	408	768	1,378	**872**	**1,150**
親会社株主に帰属する当期純利益	△1	335	627	989	**633**	**800**
総資産	—	22,599	—	23,046	**23,547**	**—**
純資産	—	18,156	—	18,836	**19,372**	**—**
1株あたり配当（円）	中間 3	期末 3	中間 3	期末 5	**中間 3**	**期末 4**

POINT（前期比の動向）

- 自動車産業全体の低迷により、輸送機器向け拡散製品の販売が低調に推移。
- 東アジアを中心とした通信機器向け遮光製品および粘着製品が堅調に推移。
- 高付加価値製品の販売強化、継続的な品質の追求や生産業務効率化および低収益品の統合による製造原価低減により、収益性を維持。

社外取締役インタビュー

2025年5月30日開催の定時株主総会をもって新たに就任した、小野寺取締役のインタビューをご紹介します。

取締役 小野寺洋子

Q. 社外取締役に就任されて半年。就任当初と現在の印象に違いはありますか。

就任前はKIMOTOについて十分に存じておらず、製品や事業の概要は把握していたものの、経営陣の雰囲気については未知でした。初めて取締役会に出席した際、皆様が温かく迎えてくださり、すぐに打ち解けることができました。会議では活発かつ真剣な意見交換が行われ、「良いことはすぐに実行していこう」という前向きな姿勢が印象的でした。和やかな中にも良い意味での「厳しさ」が共存しており、これがKIMOTOの特長であると感じます。

Q. 社外の視点から見た、KIMOTOの企業文化や風土についてはいかがですか。

KIMOTOは、役職や立場に関係なく、社員と取締役が互いに尊重し合い、協働する文化が根付いています。KIMOTOのDNAの真髄はここにあるのではないかと感じております。新しい取り組みにチャレンジすることを、会社全体で応援する風土が育っている企業だと思います。

Q. KIMOTOの強みや成長の可能性についてはどのようにお考えですか。

技術開発・研究開発に対する全社的な取り組みが、KIMOTOの大きな強みです。「まだまだ自分たちには大きな可能性がある!」という前向きな姿勢と活気があります。長年培ってきた技術を基盤に新たな価値創出に挑む「探究心」が、持続的成長の原動力であり、現状に甘んじない姿勢が将来の飛躍につながると確信しています。

Q. 印象に残った出来事や、今後の取り組みについてお聞かせください。

KIMOTOファームの見学は特に印象深い体験でした。田んぼの管理や地元農家さんとの協力、有機JAS認証取得までの道のりを拝見し、ものづくりに対する真摯な姿勢と地道な努力の積み重ねに大変感動しました。この経験から、KIMOTOは現在の事業を拡大しつつ、さらに様々な分野で活躍し、大きく世界を変えていく企業だと感じます。

今後は社外取締役として、KIMOTOの文化や取り組みを、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。KIMOTOの魅力を積極的に発信し、応援してくださる方がさらに増えるように努めていきたいです。

小野寺取締役のその他のインタビューや略歴をこちらでご覧いただけます。

イベント登壇のご報告

世間から注目される、KIMOTOの「人を中心とした働き方改革」

KIMOTOが長年取り組んできた働き方改革が、いま多くの企業や業界団体から注目を集めています。

この夏は東京・名古屋で開催された複数のビジネスイベントにて、KIMOTOの実践事例を紹介する機会をいただきました。

東京ビッグサイトおよび名古屋ポートメッセで行われた「カイシャのミライカレッジ 2025」(RX Japan株式会社主催)では、全デスクワーカーがフルリモートで働く製造業という、KIMOTOならではのユニークなスタイルを紹介。時間や場所にとらわれず誰もが働きやすい環境づくりや、自律を支える文化づくりについてお話ししました。参加者からは、製造業の新しい働き方への驚きと共感の声が多く寄せられました。

「JAPAN LEADERS SUMMIT」で講演する川口副事業部長(Digital Twin事業部)

また、経営層・管理職向けイベント「JAPAN LEADERS SUMMIT」(スマートキャンプ株式会社主催)では、属人化や紙文化の見直しを通じて業務効率を高めた事例を紹介しました。「引き算」思考で無駄を省き、本質的な働き方を追求する姿勢に、多くの関心が集まりました。

「Smart Work-X 2025」パネルディスカッションに登壇する小林社長(左)、山田常務(右)

さらに、シンポジウム「Smart Work-X 2025 人的資本経営への挑戦～だれもが健康で、働きたいだけ働ける社会へ～」(日本経済新聞社主催)に協賛し、パネルディスカッションに登壇しました。「中堅・中小／地方企業だからできる人的資本経営とは」をテーマに、学識者や行政の担当者と意見を交わしました。

こうした発信の背景には、社員一人ひとりの地道な実践があります。リモート環境での円滑な連携、業務効率化の工夫、自律的な働き方、それぞれの取り組みが積み重なり、いまや多くの企業にとっての参考モデルとなりつつあります。

これからもKIMOTOは、「人」を中心とした持続可能な働き方の実現に向けて、挑戦を続けてまいります。

会社情報・株式情報 (2025年9月30日現在)

● 会社概要

名　称	株式会社 きもと
設　立	1961年2月9日
従業員	425名(連結)／348名(単体)

● 株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	54,772,564株
株主総数	12,659名

www.kimoto.co.jp

KIMOTO
〒511-0411 三重県いなべ市北勢町京ヶ野新田450
TEL：050-3154-9000　FAX：03-5480-8121

VEGETABLE OIL INK
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915